

様々な運動遊びに取り組む子を育てる（4歳児『忍者ごっこ』）

南部認定こども園



青い手裏剣まで頑張ろう！

（目標を“見える化”）



お化けを倒すぞ！

（的当ての修行）



（忍者サーキット）

【手立て(援助)や環境構成の工夫】

- ・『忍者ごっこ』の遊びを通して、忍者になりきって“投げる・跳ぶ・走る”など様々な動きを、“修行”と称して楽しみながら継続的に取り組む。
- ・子供たちが目標をもって進んで体を動かせるように、目標になるものを“見える化”する。
- ・遊具や教材を自分たちで準備したり片付けたりできる環境構成にすることで、目標を自分で設定できるようにする。

【成果】

- ・忍者になりきることで、遊びの中で、保育者や友達と一緒に楽しんで様々な運動に取り組むことができた。
- ・目標が明確になることで、それに向かって頑張ろうとする姿が見られた。
- ・運動に苦手意識がある子供も、自分なりの目標に向かって取り組むことで、達成感を味わうことができた。

【課題】

- ・共有の遊具やスペースを使って環境構成をするときに、発達段階を考慮することや、自分で目標を選択できる環境構成の工夫、ねらいや意図を職員間で共通理解する必要がある。